

アカメガシワクダアザミウマに対する各種農薬の影響表

	アカメ放飼前	アカメ放飼後
A	アカメへの影響は少ない	
B	放飼1週間前まで使用可	影響はあるがアカメは残りやすい
C	放飼2週間前まで使用可	
D	放飼2週間前まで使用可	アカメに影響がある
E	アカメへの影響が大きいため使用不可	

主な対象害虫	薬剤	アカメへの影響	影響日数
病害	殺菌剤	A(※例外あり)	—
ハダニ類	殺ハダニ剤 (ダニサラバフロアブル、スターマイトフロアブル、 マイトコーネフロアブル、コロマイト水和剤、 カネマイトフロアブル)	A	—
アブラムシ類	ウララDF	A	—
コナジラミ類	コルト顆粒水和剤	A	—
ハダニ類 アブラムシ類 コナジラミ類など	気門封鎖剤 (アカリタッチ乳剤、エコピタ液剤、オレート液剤、 サンクリスタル乳剤、粘着くん液剤)	A	—
アザミウマ類	アタブロン乳剤	B	直接アカメにかからなければ影響なし
	ベネビアOD	B	1週間
	プレオフロアブル	C	成虫影響なし、幼虫2週間
	スピノエース顆粒水和剤	C	2週間
	モベントフロアブル	C	2週間
	ファインセーブフロアブル	C	2週間
	ディアナSC	D	2週間
	アフーム乳剤	D	2週間
	モスピラン顆粒水溶剤	D	2週間
	マッチ乳剤	E	3週間以上
カスケード乳剤	E	3週間以上	
ハダニ類 アブラムシ類 アザミウマ類など	合成ピレスロイド系殺虫剤	E	—

室内での直接散布試験、ポットでの影響日数試験
石原産業(株)中央研究所(2010~2018年)

※ダイアメリットDF、トリフミン水和剤、ベンレート水和剤、
ポリオキシシリン水和剤、ポリバリン水和剤、リドミルMZ、
Zボルドー水和剤には幼虫に影響があるためB判定。